

授業科目名	プレゼン演習		科目コード	501	
開講クラス	国際ビジネス科	コース	国際IT情報 国際ホテル観光	学 年	2年
担当教員	蔣 一鳴				
	実務経験教員（ 有 ・ 無 ） 実務経験内容				
開講時期 1コマ45分	前期・後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	68コマ	
	必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		時 間 数	68時間	
使 用 テキスト1	書 名	留学生のための PowerPoint2021 ワークブック			
	著 者	相澤 裕介			
	出版社	カットシステム			
使 用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（ ）				
＜授業の目的・目標＞ 就活時の面接で自己PRの向上，入社後企画提案などに支障の無いようなアイディアの出し方 文書・資料作成を身に付ける。					
＜授業の概要・授業方針＞ 単元ごとにテキストに沿って説明，解説を行った後，課題へ取り組ませ，身に付けさせていく。					
＜成績基準・評価基準＞ 授業態度や課題状況などを加味しながら4段階評価（優・良・可・不可）にて評価する。					
＜使用問題集・注意事項＞					
＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞					

授業科目名		プレゼン演習
回	授 業 内 容	備 考
1	企画の目的とは	
2	企画の相手は誰を考える	
3	情報を集めて現状を分析しよう	
4	相手の現状を知ろう	
5	企画課題って何なのか	
6	企画のアイデアの出し方	
7	企画のアイデアの出し方 演習	
8	企画のコンセプトとは	
9	企画をどうやって具体的に施策するのか	
10	企画書の目的（誰が、何のために読むのか）	
11	企画書にストーリーを盛り込む	
12	思わず読みたくなる企画書とは	
13	演習問題：企画書を作ってみよう①	
14	演習問題：企画書を作ってみよう②	
15	プレゼンの本質と全体(3つの具体的手段)	
16	プレゼンの本質と全体(目と耳に訴える要素)	
17	プレゼンの類型(目的別・課題別・人数別)	
18	学びのフレーム(相手に何を伝えるのか「主張」)	
19	学びのフレーム(どう資料にするのか「分析と主張」)	
20	学びのフレーム(どう話し、どう見せるのか)	
21	学びのフレーム(自信を持ったプレゼン法とは)	
22	学びのフレーム(プレゼンの山場とは何か)	
23	学びのフレーム(「山場」を決めるためにどうするか)	
24	学びのフレーム(プレゼンはエンターテインメントだ)	
25	学びのフレーム(エンターテインメントとは何か)	
26	学びのフレーム(まとめ)	
27	プレゼンの技術(資料作りの技術)	
28	プレゼンの技術(ストーリーを作る技術)	
29	プレゼンの技術(プレゼン資料と調査レポートの比較)	
30	プレゼンの技術(ストーリーの構成要素)	
31	プレゼンの技術(ストーリーの基本構造)	
32	プレゼンの技術(「分析」と「主張」の中身)	

回		備 考
33	プレゼンの技術(ストーリー作りの「行動」と「思考」のパターン)	
34	プレゼンの技術(キー・ファインディングスとは)	
35	プレゼンの技術(作業の順番についての原則と実際)	
36	プレゼンの技術(考えがまとまらない時のコツ)	
37	プレゼンの技術(枚数が多くなってきた時のコツ)	
38	プレゼンの技術(ラフストーリーの構造例)	
39	プレゼンの技術(ラフストーリーのブラッシュアップ方法)	
40	プレゼンの技術(ストーリーにおける結論の位置「前」か「後」)	
41	プレゼンの技術(結論が「前」のパターンの特徴)	
42	プレゼンの技術(結論が「後」のパターンの特徴)	
43	プレゼンの技術(接続詞の技術「よく使われる接続詞」と意味)	
44	プレゼンの技術(ストーリー作成時の表紙やタイトル・目次)	
45	プレゼンの技術(ページを作る技術「基本レイアウト」)	
46	プレゼンの技術(ページを作る技術「山場ページのレイアウト」)	
47	プレゼンの技術(ページを作る技術「Z 型アイ・フロー」)	
48	プレゼンの技術(ページを作る技術「1 行当たりの文字数」)	
49	プレゼンの技術(ページを作る技術「ボックスと矢印」)	
50	プレゼンの技術(ページを作る技術「数字」)	
51	プレゼンの技術(ページを作る技術「キーワード」)	
52	プレゼンの技術(ページを作る技術「ビジュアル・エイド」)	
53	プレゼンの技術(ページを作る技術「フォントや色数・文字サイズ」)	
54	プレゼンの技術(ページを作る技術「グラフやアニメーション」)	
55	プレゼンの技術(ページを作る技術) 演習	
56	話す技術(話す技術について「声」「メリハリ」「雰囲気」)	
57	話す技術(話す技術について「声」「メリハリ」「雰囲気」) 演習	
58	見せる技術(見せる技術について「視線誘導」)	
59	見せる技術(見せる技術について「視線誘導」) 演習	
60	話す・見せる技術(時間配分とタイムキーピング)	
61	話す・見せる技術(緊張対策・質疑応答対応)	
62	プレゼンテーションのコツ①(プレゼンの狙い)	
63	プレゼンテーションのコツ②(プレゼンと企画書の説明の違い)	
64	プレゼンテーションのコツ③(プレゼンの構成要素)	
65	プレゼンテーションのコツ④(プレゼン用のスライド作成)	
66	プレゼンテーションのコツ⑤(プレゼンターの話し方)	

67	プレゼンテーションのコツ⑥(リハーサルの必要性)	
68	演習問題：プレゼンをやってみよう（鹿児島への観光客誘致案）	
69		
70		
71		
72		
73		
74		
75		
76		
77		
78		
79		
80		
81		
82		
83		
84		
85		
86		
87		
88		
89		